

福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

○開催目的

人口減少社会においても地域コミュニティが持続し、地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現に向け、今後の地域コミュニティの運営や必要な支援制度を考える場として開催しています。持続可能な地域コミュニティの在り方をみんなで方向付けていきます。

○委員（五十音順）

井上 誠	地域づくり塾参加者
江口 千種	福山市PTA 連合会幹事
後藤 健之	地域づくり塾参加者
佐藤 賢一	福山市自治会連合会会長
橋本 哲之	福山市社会福祉協議会会長
廣田 要	福山明るいまちづくり協議会会長
藤井 眞弓	福山市女性連絡協議会事務局長
古谷 輝昭	福山市老人クラブ連合会副会長
真室 明美	福山市福祉を高める会連合会副会長
村田 政雄	福山市公衆衛生推進協議会副会長兼事務局長
吉田 美砂	福山市子ども会育成協議会事務局長
委員長 渡邊 一成	福山市立大学教授 地域連携フェロー
渡邊 千裕	地域づくり塾参加者

○オブザーバー

櫻井 常矢（福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー）
澤 尚幸（福山市政策アドバイザー）

○開催スケジュール

※会議時間はいずれも1時間30分

- 第1回 8月29日（木）19時30分～ 地域活動の負担感を共有，改善策の検討
- 第2回 9月19日（木）19時30分～ 地域支援の在り方の検討
- 第3回 10月28日（月）19時30分～ 地域組織の在り方の検討
- 第4回 11月23日（土・祝）14時～ モデル事業の共有，これからの地域コミュニティの在り方を検討
- 第5回 1月20日（月）19時30分～ 検討委員会の意見をとりまとめ，市長へ報告

※3月頃に「（仮称）これからの地域づくりを考えるシンポジウム」を予定

第3回福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

○日時

2019年（令和元年）10月28日（月）19:30～21:00

○会場

福山市役所本庁舎3階 中会議室

○プログラム

- 1 振り返りと説明
 - ・第2回検討委員会ワークショップの振り返り
 - ・本市の地域組織の現状について
- 2 講演
 - 「人口減少時代の地域コミュニティをえがく」
講師 櫻井 常矢さん
福山市地域コミュニティのあり方検討委員会オブザーバー
福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー
高崎経済大学地域政策学部教授
- 2 意見交換
 - ・地域組織のあり方について

○第2回検討委員会ワークショップの振り返り（渡邊委員長）

地域支援の現状について共有したうえで、「足りないもの」「足りないもの」「あったらいいと思う支援」についてワークショップ形式で議論した。

○講演 「人口減少時代の地域コミュニティをえがく」

- 1 なぜ今、地域づくりなのか
 - (1) 多様化・深刻化する地域課題
 - (2) 地域の課題を解決すること
- 2 RMO（広域コミュニティ）の考え方と推進課題
 - (1) 既存団体とRMOとの関係
 - (2) 従来型事業（補助金）と各種団体との関係
- 3 当面の取組として
 - (1) 地域活動への率直な振り返り
 - (2) 拠点機能の再構築
 - (3) 行政としての役割発揮



○会議内容

- ・意見交換

テーマ	地域組織の役割・あり方の検討
目標	地域組織のあり方を考える

所属団体について発表（民主団体による活動の振り返り）	
※①設立目的 ②今までの活動 ③これからの活動・これから期待する取組	
福祉を高める会	<p>①「地域共生社会」をめざす。</p> <p>②「居場所づくり」「見守り活動」「生活支援」</p> <p>③高齢者が高齢者を支援している状態や40～50歳代の人をいかに巻きこんでいくかが課題</p>
老人クラブ連合会	<p>①高齢者自身が自らの福祉を向上させる自覚が高まり、老後の幸せは自らの手で創り出す。</p> <p>②健康・友愛・奉仕活動を通じた地域に根ざした福祉活動</p> <p>③身体的・精神的な介護予防活動をして、孤独・孤立などを防止する集い、通いの場所づくり、人と人との助け合い、支え合う「地域共生社会」の実現などの活動</p>
社会福祉協議会	<p>①「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」（社会福祉法）であり、公共性・公益性の高い民間の福祉団体</p> <p>②高齢者の居場所づくり（サロン活動）、見守り活動、障がい者への相談・支援、災害発生時のボランティア活動</p> <p>③生活するうえでの様々な課題を受け止め解決に向けてつなげていく仕組みづくり、多機関連携のためのネットワークの構築、「地域共生社会」の「協働」の中核をめざす。</p>
自治会連合会	<p>①学区連合会相互の連絡、良好な地域社会の維持及び形成に資することなど。市政の進展に寄与する活動を展開し、持続可能な地域コミュニティづくりをめざす。</p> <p>②福山市の「協働のまちづくり」の対等なパートナーとして、地域課題の解決や「自らのまちは自らがつくる」ことを目標に「安心・安全なまちづくり」の構築に向けて取り組む。</p> <p>③組織の充実、加入促進活動などに取り組む。</p>
女性連絡協議会	<p>①男女共同参画による、活力と個性ゆたかな地域社会の建設</p> <p>②各学区女性会の連携及びその他女性団体との連絡調整、市民生活の向上をめざし、女性の教養及び地位向上に係る活動</p> <p>③市内外の女性団体との連携、会員・リーダーの成長が鍵を握っている。</p>
まちづくり推進委員会、町内会連合会（地域づくり塾）	<p>①（まち推）住民主体の地域づくりに向けて協働のまちづくりを推進、（町連）各町内会の活動について連絡協議、学区民相互の親睦と福祉増進</p> <p>②（まち推）5つの部会で活動、（町連）敬老会などの様々な活動</p> <p>③若い世代が活動しやすい場づくりとWi-fi設備の充実</p>

単位町内会 (地域づくり塾)	<p>①会員相互の親睦, 福祉増進, 民主的な発展及び男女共同参画社会</p> <p>②会の持続について昨年度から役員と協議</p> <p>③普段意見を言えない人が発言できる場の開催</p>
公衆衛生推進協議会	<p>①地域の生命と生活を守る組織 学区ごとで活動している公衆衛生推進委員会の連合体</p> <p>②脱温暖化・子どもと一体となった活動・食生活の改善等の健康づくり</p> <p>③災害前・発災時・発災後に求められる役割</p>
PTA 連合会	<p>①保護者と先生の会, 家庭と学校が協力し, 教育効果をあげようとする学校単位に結成された教育組織</p> <p>②子どもたちの健やかな成長のために, 家庭・学校・地域社会が協力し合って活動</p> <p>③現状を踏まえた活動に見直し, 縮小し, 責任を分担・軽減して多くの人がかかわれる団体をめざす。</p>
子ども会育成協議会	<p>①子どもの健全育成を掲げ, 子ども会の育成に取り組む。</p> <p>②球技大会, 子ども文化祭, ジュニアリーダーの養成</p> <p>③育成者の認識と理解を深め, 多様化する育成会の内容の充実に努める。</p>
まちづくり推進委員会 (地域づくり塾)	<p>①住民主体の地域づくりに向けた, 地域の課題解決, コミュニティ育成</p> <p>②4つの部会で活動(人と人のつながり強化, 安心・安全なまちづくりなど)</p> <p>③補助金の活用を柔軟にしてほしい。若い世代が活動できるように市の会議の開催時間を検討してほしい。</p>
明るいまちづくり協議会	<p>①心豊かな市民意識の高揚を図り, 明るく住みよいまちをつくる。</p> <p>②「市民憲章」の具現化に向けた活動(ばらのまちづくり, 全市一斉清掃など)</p> <p>③今後の活動は会員の意向に沿った活動ができるよう組織内で検討</p>



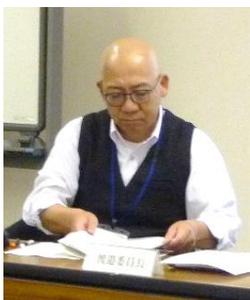
○櫻井アドバイザーと委員長の意見

【櫻井アドバイザー】



- ① 設立から時間を経た団体もあり、時代も変わっているため目的もそれぞれ変わっていかざるを得ない。今の社会にあった取組なのかどうかという検証は必要ではないか。
- ② 話し合いの場をきちんと作っていくことが重要である。
- ③ 「何のために」という目的を議論していく中で、団体同士のつながりができる。
- ④ 各団体に組織や事業の連携や統合の可能性もあるのでは。
- ⑤ 学区単位組織の統合などの動きに対する寛容さが、市行政も全市組織も必要

【委員長コメント】



- ① 社会経済情勢や市民の暮らし方も「変化」しているため、課題も変化している。
- ② 検証、振り返りが大事だと思う。
- ③ 地域コミュニティも「負のスパイラル」に陥っているのでは。市民、組織、行政のみんなが「発想を変える」「今までの取組方法を変える」「関わり方を変える」ことをしないと「負のスパイラル」から脱却できない。